

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に係る研修会を実施しました。

新たな学校教育準備
プログラム推進事業
通信 No.3

令和元年 9月10日
教育指導課教育課程係

『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善』研修会（道徳） 茨城大学教育学部 教授 小川 哲哉 氏



8月21日(水)に、若林区の拠点校として「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」の実践を推進している仙台市立沖野中学校(大村宏人 校長先生)において研修会が行われました。沖野中学校では、新学習指導要領の全面実施を目前に控え、資質・能力の育成に向け「特別の教科 道徳」を取り上げ、「考え、議論する道徳」への質的転換を図るべく授業改善に取り組んでいます。講師には、道徳教育学、教育哲学等が御専門で、道徳教育の実践的研究に造詣が深く、このたび採択された中学校道徳教科書の編集委員も務められた茨城大学教育学部教授の小川哲哉様をお迎えしました。当日は、夏休み中にもかかわらず、仙台市内の小中学校から先生方が集まり、会場校(拠点校)である沖野中の先生方とも合わせ約60名で研修会が行われました。

まず初めに小川教授から講話があり、文科省専門家会議で例示された「質の高い指導」①自我関与②問題解決的な学習③体験的な学習に共通するところの「考え、議論する道徳」のイメージが説明されました。また、評価の問題にも触れられ、特に「個人内評価」については、「道徳ノート」等の蓄積による総合的評価の有効性が示されました。

次にワークショップ形式による演習が行われました。小川教授の進行のもと、「本が泣いています」(16 公共の精神 C(12) 社会参画・公共の精神 東京書籍1年)を題材に、上記「①自我関与」に関わる助言等を交えながら、ペアを組んでロールプレイを行いました。2組のペアの実演披露後、グループ演習「②問題解決的な学習」<討議活動>へ移り、A3判ホワイトボードに意見を取りまとめたところで研修会は終了となりました。



今回の研修会では、教職経験が10年未満の先生方の参加割合が多かったこともあり、「ロールプレイの仕方、自我関与を意識した教材の扱い方等が大変参考になった」「授業イメージが具体的に描けた」との感想が多く寄せられました。

沖野中学校においては、今回の研修会等も含め、これまでの授業研究の成果を11月26日(火)に公開予定です。後日改めて御案内いたしますので、多くの先生方に御参加いただき、共に学んでいきたいと思ひます。



『気になる子どものできた！が増える書字指導アラカルト』（書写）

神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科 学科長・教授 笹田 哲 氏

8月26日(月)に、泉区の拠点校として実践に取り組んでいる仙台市立七北田小学校（相澤経利 校長先生）において、公開研修会が行われました。拠点校としては2年目の取組となります。今年度、七北田小学校は第47回東北書写書道教育研究会仙台大会の小学校会場校（授業提供校）となっております。主体的・対話的な書写の授業を通して、どのように児童の学びを深めていくのかといったところをテーマに、11月の公開に向けて取り組んでいるところです。



講師には、発達障害作業療法学が御専門で、特別支援教育と作業療法や人間作業モデルの臨床作用を研

究されている、神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科教授を兼任なさっている笹田哲様をお迎えいたしました。当日は、夏休み明け間もないところにも関わらず、仙台市内の小中学校の先生方にお集まりいただきました。書写研究部会関係の先生方だけではなく、特別支援学級等関係の先生方も多数参加され、七北田小の先生方とも合わせ約70名で研修会が行われました。

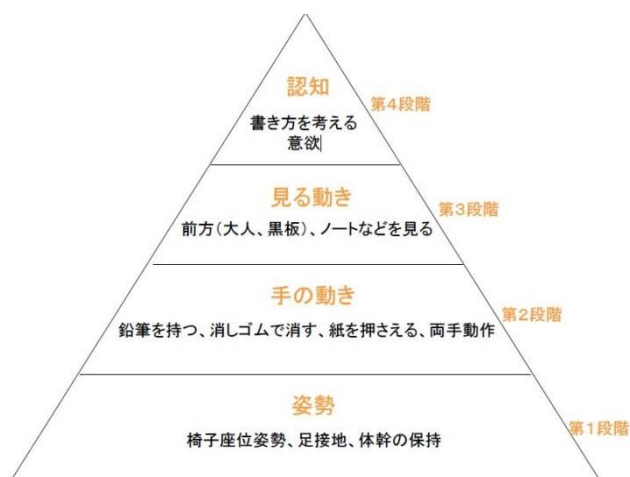
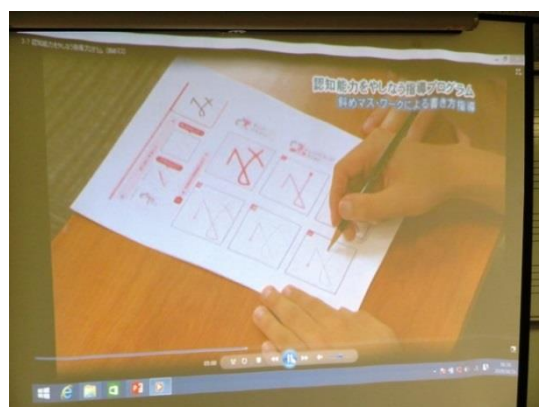


図 書字動作のピラミッド

笹田教授からは、これまでの研究の成果から分かったこととして、授業における書字の動きの失敗が心理面で影響していること、そしてその失敗が学習性無力

感（自己有能感や自尊感情の低下）につながっていくことが説明されました。書いた文字をノートだけで見めるのではなく、児童生徒の身体にも目を向けた書字指導のあり方を示されました。気になる動作や姿勢等に改善を施し、書字の障害となっている部分を取り除いてあげることで、児童生徒が主体的に学び、互いに考えを交流させることができる授業へと期待されるとの講話をいただきました。

参加された先生方からは、以下のような感想が寄せられました。「姿勢や鉛筆の持ち方が学習意欲や注意力につながっていくことが分かり、気を付けてみていかなければならないと感じた。」「これまで鉛筆の持ち方の癖はなかなか直せないと半ばあきらめていたけれど、持ち方次第で文字の形や筆圧、さらには器用さまでも変わってくると分かりました。」「動画を使った解説がとても分かりやすく本校児童の実態に当てはまるものが多く、これからの指導に役立つ内容であった。」また、これからの実践というところでは、「さっそく明日からの指導の中で、プチ講座的に取り入れていきたいと思いました。」という内容が多くございました。



七北田小学校の今後の予定としては、10月29日(火)午後2時～に本事業関連の公開研究会（授業公開・5年生）を予定しております。詳細につきましては、後日改めて御案内いたします。多くの先生方に申込みいただき、実り多き研修の機会にしたいと考えております。